



第5回 アメリカンフットボール U-19 世界選手権
2018 メキシコ大会
報告書



公益社団法人
日本アメリカンフットボール協会



第5回 アメリカンフットボール U-19 世界選手権大会 （報告）

国際アメリカンフットボール連盟（IFAF: International Federation of American Football）が主催する「第5回 U-19 世界選手権大会」は、2018年7月14日（土）～7月22日（日）、メキシコ合衆国メキシコシティで開催された。



◆対戦フォーマットカード

7月14日

GAME1 カナダ（1位）v s スウェーデン（6位）

GAME2 日本（4位）v s メキシコ（3位）

GAME3 オーストラリア（5位）v s アメリカ（2位）

7月18日

GAME4 オーストラリア（5位）v s スウェーデン（6位）

GAME5 カナダ（1位）v s 日本とメキシコ敗者

GAME6 アメリカ（2位）v s 日本とメキシコ勝者

7月22日

GAME7 5位決定戦 GAME4 敗者 v s GAME5 敗者

GAME8 3位決定戦 GAME4 勝者 v s GAME6 勝者

GAME9 優勝決定戦 GAME6 勝者 v s GAME5 勝者

今大会はカナダ（ランク1位）・アメリカ（ランク2位）・メキシコ（ランク3位）・日本（ランク4位）・オーストラリア（ランク5位）・スウェーデン（ランク6位）の6カ国が参加し上記日程の通り対戦相手が決定された。

日本代表チームは、14日にメキシコ代表チームと対戦し14-31で敗戦となり、18日（水）に前回大会で優勝したカナダ代表チームと対戦し、ラスト2分で6点差まで迫ったものの22-28で敗退。2連敗したことにより、5位決定戦へ進まざるを得なくなり、オーストラリア代表チームには、51-14で快勝し5位という結果になった。

◇ 7月14日（土）

Game1 アメリカ 38 × 0 オーストラリア

Game2 メキシコ 31 × 14 日本

Game3 カナダ 49 × 6 スウェーデン

◇ 7月18日（水）

Game4 オーストラリア 6 × 19 スウェーデン

Game5 カナダ 28 × 22 日本

Game6 アメリカ 6 × 33 メキシコ

◇ 7月22日（日） 順位決定戦

Game7 日本 51 × 14 オーストラリア 5位 決定戦

Game8 アメリカ 61 × 9 スウェーデン 3位 決定戦

Game9 カナダ 6 × 13 メキシコ 優勝 決定戦

【最終順位】

優勝：カナダ、準優勝：メキシコ、3位：アメリカ、4位：スウェーデン、5位：日本、6位：オーストラリア

試合結果

【U-19 日本代表チームの試合結果】

第1試合（7月14日）

	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	Total
日本代表（4位）	0	6	8	0	14
メキシコ代表（3位）	3	0	14	14	31

第2試合（7月18日）

	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	Total
日本代表（4位）	7	0	8	7	22
カナダ代表（1位）	7	14	7	0	28

5位決定戦（7月22日）

順位戦	5位決定戦	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	Total
日本代表（4位）		10	13	14	14	51
オーストラリア代表（5位）		0	0	14	0	14



GAME REPORT

【第1試合】

ー U-19 メキシコに敗れて初戦落とす ー

現地時間7月14日（土）※日本時間15日、メキシコ合衆国メキシコシティで開催されている第5回 IFAF アメリカンフットボールU-19世界選手権大会が行われ、U-19日本代表がU-19メキシコ代表と対戦し、14対31のスコアで敗れました。敗れたU-19日本代表は現地時間18日に、前回王者で2度の優勝を誇るU-19カナダ代表と対戦します。

なお、この試合のU-19日本代表ゲームMVPには、TE水谷蓮（高槻高校3年）が選ばれました。

この日行われた他の試合では、U-19アメリカ代表がU-19オーストラリア代表を38対0で、U-19カナダ代表がU-19スウェーデン代表を49対6でそれぞれ下している。

現地時間 7 月 14 日(土) 13 時 00 分キックオフ	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
日本代表	0	6	8	0	14
メキシコ代表	3	0	14	14	31

ゲームサマリー

日本のレシーブで始まったこの日の試合、日本は自陣20 ヤードから始まった最初のドライブで、QB 平尾 渉太（関西学院大学1年）がいきなりサックを浴びるなどスリーアンドアウトに終わる厳しいスタートとなった。続くメキシコ陣46ヤードからのメキシコの攻撃では、ファーストダウンを3 回更新されてゴール前8ヤードまで進まれた。それでも3 度の攻撃をノーゲインに抑え、フィールドゴールに留めた。

先制を許した日本は、自陣27ヤードからの攻撃でランとパスを絡めて着実に前進して敵陣へ侵入した。その後反則やサックなどで後退するも平尾の14ヤードランで第4ダウン1 ヤード。Qが代わった最初のプレーでフォースダウンギャブルを試みるが失敗となり、このシリーズでは逆転することができなかった。

その後の攻撃では、お互いに得点できず。日本は、自陣27ヤードの第3ダウン8ヤードの場面、メキシコのパス攻撃で一気にエンドゾーンまでボールを運ばれたが、メキシコの反則でタッチダウンが取り消しとなった。結局、メキシコはフィールドゴールを狙ったが失敗に終わり、攻撃権は日本へ移動した。自陣22ヤードから攻撃をスタートさせた日本は、QB 平尾がWR 嘉本 健太郎（明治大学2年）、TE 水谷 蓮（高槻高校3年）へ25ヤード、16ヤードのパスを通すなど攻撃が機能して敵陣26ヤードへボールを進めた。そして、この好機にQB 平尾がランプレーと見せかけ、左サイドを走っていたTE水谷へのタッチダウンパスを通した。その後のPATが失敗に終わった日本だったが、6 対 3で前半を折り返した。

しかし、後半キックでスタートした日本は、26ヤードパス、56ヤードランの2プレーで試合をひっくり返された。その後日本は2度の攻撃権を得点につなげられず、逆にメキシコにタッチダウンを許し、6 対17と11点差に広げられた。

それでも日本は、自陣35 ヤードから始まった攻撃で2 本のロングパスを成功させて敵陣14ヤードまで侵入。すると、RB 柴田 健人（日本大学1年）の14 ヤードランが決まり12 対17。さらに2点コンバー

ジョンも成功で3 点差に詰め寄った。

そして、勝負の第4Q。自陣41ヤードから始まった日本の攻撃、第4ダウン1 ヤードの場面でフォースダウンギャンブルを選択するも失敗に終わった。ここで攻撃権を失った日本は、メキシコにタッチダウンを奪われ、得点が14 対 24に変わった。続く攻撃をスリーアンドアウトに抑えられた日本は、メキシコの攻撃を止められずに失点。タッチダウンを決められ、リードを17点に広げられた。後がなくなった日本は、自陣20ヤードからの攻撃で敵陣まで攻め込んだが、最後はフォースダウンギャンブルが失敗に終わり、万事休した。

■メキシコ戦後の主な日本代表コーチ、選手のコメント

U-19 日本代表 山岸 隆夫監督（大阪産業大附属高等学校）



--今日の試合を振り返ってどうだったのか？

ディフェンスはアサイメント云々ではなくタックルが出来ない。オフェンスは第4 ダウンギャンブル、2 回とも裏をかいいたりせず正面から行ったが力で止められた。それが敗因、今日はブロックとタックルの差、要は弱い。相手が強かった。

--QB 野沢がでてきて、ポンポンとパスを決めて3 プレーでTD をとった、あのプレーはチェンジアップとしての狙いか
オフェンスは大村コーチに任せているので判らない。

--今日のゲームの印象と、怪我人など出ていないか。

そんなに大きな怪我は出ていない。フットボールの基本はブロックとタックル。その両方が出来なかったので完全に力負けした、完敗だった。

--事前にスカウティングしたのか、その印象。ハーフタイムにどんなアジャストしたのか、2 ポイントコンバージョンは用意していたのか。

前回ハルビン大会のビデオをみて研究した。ハーフタイムで話した事は、後半の勝負になる事は判っていたので、ディフェンスはいくら出されても諦めないで頑張ろうと伝えた。

日本代表MVP TE水谷 蓮選手（高槻高校3年）

--今日の感想、チームメイトに言いたい事、相手チームに言いたい事。

今回代表で参加して、海外のコーチにも自分のプレーを見てもらいたいと思っていた。その意味でMVP はとても嬉しい。しかしアメリカンフットボールはチームスポーツ、チームが勝てていないので、後の2 試合を絶対に勝って日本のフットボールを世界にアピールしたい。

--TD（PAT で）についてはどう思ったか

同じプレーを練習でしたときに球を落としていた。試合でこのプレーがコールされた時、絶対にTDをとってやと思っていた。実際のプレーも良い形になり決める事が出来た。11人で取ったTD だと思う。自身も嬉しかったし興奮した。



--今日の観客の反応、ファンの声援、スタジアムの環境などはどうだったか。

入場の時メキシコチームへの声援がとても大きくて圧倒された。後半くらいから日本への声援も聞こえて来て、もっと頑張るってやろうという気持ちになれた。

■主なスタッツ

得点経過			
1st	5:47	MEX	0-3 #8 25yd FG
2nd	10:45	JPN	3-6 #92 水谷 26yd Pass from #11 平尾 (#78 築瀬 kick Good)
3rd	0:25	MEX	10-6 #3 56yd Run (#8 kick Good)
3rd	9:35	MEX	17-6 #20 3yd Pass from #3 (#8 kick Good)
3rd	10:50	JPN	17-14 #1 柴田 4yd Run (#92 水谷 Pass from #6 野沢)
4th	4:17	MEX	24-14 #38 4yd Run (#8 kick Good)
4th	8:02	MEX	31-14 #12 14yd Pass (#8 kick Good)

日本	チーム成績	メキシコ
52-308	オフェンス回数-総獲得ヤード数	63-392
29-111	ラン回数-獲得ヤード数	38-255
197	パス獲得ヤード数	137
23-14-1	パス回数-成功回数-被インターセプト	25-15-1
14	ファーストダウン回数	16
4-30	ペナルティ回数-喪失ヤード数	8-82
0-0	ファンブル回数-喪失回数	0-0



山寄監督のコメントにもあるようにタックルが決まらなかったのが敗因



高校3年生ながら、日本代表チームのMVPに輝いた、#92 水谷 蓮選手（高槻高校3年）

日本 主な個人成績					
選手名	パス試投-成功	獲得ヤード	TD	インターセプト	被サック
平尾 渉太 (関西学院大)	17-12	146	1	1	4
野沢 研 (立命館大)	5-2	51	0	0	0
選手名	ラン回数	獲得ヤード	TD	1 回平均	
平尾 渉太 (関西学院大)	13	49	0	3.8	
小田賀優介 (法政大)	6	29	0	4.8	
柴田 健人 (日本大)	5	30	1	6.0	
西山 雄大 (日本大)	4	4	0	1.0	
選手名	レシーブ回数	獲得ヤード	TD	1 回平均	
糸川 幹人(箕面自由学園)	2	48	0	24.0	
水谷 蓮 (高槻高)	3	42	1	14.0	
吉田 亮雅 (立教大)	2	34	0	17.0	
嘉本健太郎 (明治大)	1	25	0	25.0	
大谷 空渡 (日本大)	2	17	0	8.5	
大島 則也 (明治大)	2	12	0	6.0	
小田賀優介 (法政大)	1	3	0	3.0	
選手名	タックル数	サック数	インターセプト		
小西 優 (桃山学院大)	11	0	0		
比留間豊 (明治大)	9	0	0		
村井 翔哉 (立命館大)	7	0	0		
北川 太陽 (関西学院)	6	0	0		
大沢 海生 (日本大)	4	0	0		
行友 捷人 (法政大)	2	0	0		
樋口 斎 (日本大)	2	0	0		
宇田 正男 (日本大)	1	0	0		
浅木 照平 (立命館大)	1	0	0		
窪田弦太郎 (早稲田大)	1	0	0		
明石 大地 (立命館大)	1	0	0		
湯上 弘章 (龍谷大)	1	0	0		



GAME REPORT

【第2試合】

－ U-19 日本代表、カナダに敗れて2連敗 5位決定戦へ －

現地時間7月18日(水)※日本時間19日、メキシコ合衆国メキシコシティで開催されている第5回IFAF アメリカンフットボール U-19 世界選手権大会が行われ、U-19 日本代表がU-19 カナダ代表と対戦し、22 対 28のスコアで敗れました。これで2連敗となったU-19 日本代表は現地時間22日に、U-19 オーストラリア代表と5位決定戦を行います。

なお、この試合のU-19 日本代表ゲームMVP には、QB 野沢 研(立命館大学1年)が選ばれました。この日行われた他の試合では、U-19 スウェーデン代表がU-19 オーストラリア代表を19対6、U-19 メキシコ代表がU-19 アメリカ代表を33 対 6でそれぞれ下しました。

現地時間 7月18日(水) 13時00分キックオフ	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
日本代表	7	0	8	7	22
カナダ代表	7	14	7	0	28

ゲームサマリー

2大会ぶりのメダル獲得に向けて負けられない日本は、第1Q 最初のドライブでパントに抑えられた。すると、カナダに65ヤードパントリターンタッチダウンを決められ、日本はいきなり7点を失う苦しい船出となった。しかし日本は、QB 野沢のパスを軸に丁寧にボールを進めると、第1Q8分49秒、ゴール前1ヤードのフォースダウンギャブルでRB 柴田 健人(日本大学1年)がタッチダウンラン。PAT も成功させて、試合を振り出しに戻した。

7対7の同点に追いつくも、その後第2Q に2つのタッチダウンを許して、14点ビハインドで前半を折り返した日本。それでも、後半最初のカナダのドライブを無得点に抑えると自陣25ヤードからスタートした攻撃で、QB 野沢のパスが面白いように決まる。そして第3Q5分17秒、QB 野沢から大谷 空渡(日本大学1年)へ20ヤードタッチダウンパスがヒットした。しかし、PAT は失敗に終わり、得点は13対21。

勢いに乗る日本は、続くカナダの攻撃を敵陣ゴール前でパントに抑え込むと、ここでカナダがスナップミス。これがセイフティとなり、日本は2点を追加した。6点差に詰め寄った日本だったが、第3Q10分26秒に15ヤードタッチダウンパスを許し15 対 28とツーポゼッション差に広げられた。

そして、試合は勝負の第4Q へ。自陣13ヤードから攻撃を開始した日本は、QB 野沢のパスなどでファーストダウンを更新して敵陣へ侵入した。そして敵陣25ヤードの第3ダウン10ヤード、QB 野沢のパスがインターセプトされるも、カナダの反則があり、逆にゴール前5ヤードへ前進。この好機に、さすがQB 野沢がWR 糸川 幹人(箕面自由学園高校3年)へタッチダウンパス。PAT も決めて、22 対 28と再びワンポゼッション差に戻した。

なおも日本は、続くカナダの攻撃をフィールドゴールブロックに抑えて攻撃権を奪取。自陣45ヤードからのドライブに逆転の望みをかけた。フォースダウンギャブルを成功させてカナダ陣まで侵入した日本だったが、第4ダウン18ヤードのフォースダウンギャブルが失敗に終わり、勝利への一縷の望みが絶たれた。

敗れた日本は、現地22日に同じく2連敗のU-19 オーストラリア代表と対戦。日本に勝って2連勝の

U-19 カナダ代表は、U-19 アメリカ代表に快勝した開催国U-19 メキシコ代表と金メダルをかけて決勝で激突。3位決定戦は、1勝1敗同士のU-19 アメリカ代表対U-19 スウェーデン代表となった。

■メキシコ戦後の主な日本代表コーチ、選手のコメント

U-19 日本代表 山崎 隆夫監督（大阪産業大附属高等学校）



--敗因について

最初のシリーズと最後のシリーズ、自滅するようなミスをしてしまった事、そしてパントのカバーが悪かった事、この2つ。

--フィジカル的に大きな相手に対しどんな準備をして臨んだのか？

相手の方が大きいのは初めから判っている。その体格差を少なくする為にパスを多用することと、ランに関しては低くいく、基本的な事を大事にしている。

--とても良くパスが決まっているように見えたが、それは事前のスカウティング

で対策を立てたものなのか、それとも、アジャストなのか。どんな戦略だったのでしょうか？

体格差はどうしようもないので、ライン勝負のパワーフットボールは通用しない。パスプレーに活路を見いだしてやっている。

U-19 日本代表MVP QB 野沢 研（立命館大学1年）

--どういう気持ちで試合に臨んでいたのか、精神的なプレッシャーとはどのように向き合った

のか？

メンタル的には厳しい部分もあったが、WR がフリーになってくれるのを信じて、OL が自分守ってくれる事を信じて臨んでいたのも、特に怖いという気持ちはなかった。



■主なスタッツ

得点経過				
1st	1:45	CAN	7-0	#1 Punt Ret 65yd (#18 kick Good)
1st	8:49	JPN	7-7	#1 柴田 1yd Run (#78 築瀬 kick Good)
2nd	3:25	CAN	14-7	#1 14yd Pass from #4 (#18 kick Good)
2nd	11:42	CAN	21-7	#7 4yd Pass from #4 (#18 kick Good)
3rd	5:17	JPN	21-13	#18 大谷 20yd Pass from #6 野沢 (#78 築瀬 kick No Good)
3rd	2:37	JPN	21-15	Safety Punt snap
3rd	10:26	CAN	28-15	#2 15 Pass from #4 (#18 kick Good)
4th	2:37	JPN	28-22	#80 糸川 5yd Pass from #6 野沢 (#78 築瀬 kick Good)

日本	チーム成績	カナダ
54-216	オフェンス回数-総獲得ヤード数	43-259
20-7	ラン回数-獲得ヤード数	25-191
209	パス獲得ヤード数	68
34-20-1	パス回数-成功回数-被インターセプト	18-9-0
16	ファーストダウン回数	13
6-45	ペナルティ回数-喪失ヤード数	8-90
0-0	ファンブル回数-喪失回数	0-0



競り合いに強さを発揮した#18WR 田窪大渡(早稲田大1年)



要所でシリーズ更新するキャッチを披露した#80WR 糸川幹人(箕面自由学園高校3年)



メキシコ戦から見違える働きを見せた JPN Def 陣 #52DL 伊東 慧太(日本大学2年)・#54DL 宇田 正男(日本大学2年)・#99DL 窪田 弦太朗(日本大学1年)・#44LB 大沢 海生(日本大学1年)・#45DL 樋口 斎(日本大



この試合で圧倒的な存在感をあらわし、勝利まで後一歩と迫った、#6QB 野沢 研(立命館大学1年)が、日本代表チーム MVP に選出される。



日本 主な個人成績					
選手名	パス試投-成功	獲得ヤード	TD	インターセプト	被サック
野沢 研 (立命館大)	32-20	209	3	1	3
平尾 渉太 (関西学院大)	2-0	0	0	0	0
選手名	ラン回数	獲得ヤード	TD	1 回平均	
野沢 研 (立命館大)	6	3	0	0.5	
小田賀優介 (法政大)	5	9	0	1.8	
柴田 健人 (日本大)	4	-1	1	-0.3	
西山 雄大 (日本大)	2	2	0	1.0	
平尾 渉太 (関西学院大)	2	-7	0	-3.5	
庭山 大空 (立命館宇治)	1	1	0	1.0	
選手名	レシーブ回数	獲得ヤード	TD	1 回平均	
糸川 幹人 (箕面自由学園)	8	76	1	9.5	
西山 雄大 (日本大)	3	29	0	9.7	
大島 則也 (明治大)	2	25	0	12.5	
嘉本健太郎 (明治大)	1	24	0	24.0	
大谷 空渡 (日本大)	1	20	1	20.0	
吉田 亮雅 (立教大)	1	18	0	18.0	
田窪 大渡 (早稲田大)	1	11	0	11.0	
柴田 健人 (日本大)	3	6	0	2.0	
選手名	タックル数	サック数	インターセプト		
小西 優 (桃山学院大)	6	1	0		
只松 哲朗 (早稲田大)	4	0	0		
村井 翔哉 (立命館大)	3	0	0		
湯上 弘章 (龍谷大)	3	0	0		
大沢 海生 (日本大)	3	0	0		
北川 太陽 (関西学院)	3	0	0		
伊東 慧太 (日本大)	2	0	0		
明石 大地 (立命館大)	2	0	0		
光本 周平 (早稲田大)	1	0	0		
宇田 正男 (日本大)	1	1	0		
福山 昂太 (明治大)	1	0	0		
魚谷 海仁 (立命館大)	1	0	0		
窪田弦太郎 (日本大)	1	0	0		
浅木 照平 (立命館大)	1	0	0		



GAME REPORT

【5 位決定戦】

ー U-19 日本代表、オーストラリアに快勝で5 位 ー

現地時間7 月22 日（日）※日本時間23日、メキシコ合衆国メキシコシティで開催されている第5 回FAF アメリカンフットボール U-19世界選手権大会が行われ、U-19 日本代表がU-19 オーストラリア代表と5 位決定戦を行い、51 対 14のスコアで勝利しました。

なお、この試合のU-19日本代表ゲームMVPには、RB 小田賀優介（法政大学1年）が選ばれました。

この日行われた他の試合では、決勝でU-19 カナダ代表がU-19 メキシコ代表を13 対 7で、3 位決定戦がU-19アメリカ代表がU-19スウェーデン代表を61 対 9でそれぞれ下しました。大会はこの日で閉幕し、最終結果は、1 位カナダ、2 位メキシコ、3 位アメリカ、4 位スウェーデン、5 位日本、6 位オーストラリアとなりました。

現地時間 7 月 18 日(水) 11 時 00 分キックオフ	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
日本代表	7	3	0	14	24
オーストラリア代表	0	7	0	0	7

■オーストラリア戦後の主な日本代表コーチ、選手のコメント

U-19 日本代表 山崎 隆夫監督（大阪産業大附属高等学校）

ー攻撃が効果的に機能していたと思うが？

メキシコへ来て2 週間、時差ぼけの問題と、水や食事などによる体調不良といった面が解消されてきたことが大きい。スタッフが良く対応してくれた。そして2 試合を見られたので、キチッとスカウティングし準備して臨むことが出来た。

U-19 日本代表MVP RB 小田賀優介（法政大学1 年）

ー体調はどうか？

お腹が痛くなったり、高地という環境もあり頭痛がしたり、息が苦しかったことがある。コンディショニングとしてジョギングなどをしながら呼吸を整えたりして順応してきた。今日は良いコンディションで臨めた

ゲームサマリー

メキシコ、カナダに連敗してこの日の5 位決定戦に挑んだ日本は、第1 Q4 分37 秒に築瀬真史（慶応義塾大学1 年）が25 ヤードFG を決めて先制点を挙げた。さらに日本は、およそ4 分後の第1Q8 分50 秒にRB 小田賀優介（法政大学1年）の19 ヤードTD ランを皮切りに、RB 柴田健人（日本大学1 年）の16 ヤードタッチダウンラン、QB 平尾渉太（関西学院大学1 年）からWR 大谷空渡（日本大学1 年）への7 ヤードタッチダウンパスと立て続けに得点を重ね、前半を23 対0 で折り返した。

前半でオーストラリアの攻撃を完封した守備陣が後半も奮闘した。第3 Q3 分11 秒にQB 平尾からWR 嘉本健太郎（明治大学2 年）の42 ヤードタッチダウンパスで加点した日本。同5 分1 秒には、LB 小西憂（桃山学院大学2 年）が35 ヤードインターセプトタッチダウンを決めて、リードを37 点に広げ

た。

日本はその後、2本のタッチダウンを許してオーストラリアに追いつけられたが、第4Q 6分3秒にQB 庭山大空（立命館宇治高校2年）とWR 糸川幹人（箕面自由学園高校3年）の高校生コンビで15ヤードタッチダウンパスをヒット。さらに、同8分58秒にRB 柴田がこの日自身2つ目となる61ヤードタッチダウンランを決めて、オーストラリアの追撃をかわした。

■主なスタッツ

得点経過				
1st	4:37	JPN	3-0	#78 築瀬 25yd Field Goal
1st	8:50	JPN	10-0	#3 小田賀 19yd Run (#78 築瀬 kick Good)
2nd	4:26	JPN	16-0	#1 柴田 16yd Run (#78 築瀬 kick No Good)
2nd	8:38	JPN	23-0	#18 大谷 7yd Pass from #11 平尾 (#27 村田 kick Good)
3rd	3:11	JPN	30-0	#14 嘉本 42yd Pass from #11 平尾 (#27 村田 kick Good)
3rd	5:01	JPN	37-0	#47 小西 35yd Pass intercept (#27 村田 kick Good)
3rd	8:09	AUS	37-7	#27 5yd Pass (#27 Kick Good)
3rd	2:37	AUS	37-14	#82 61yd Pass from #4 (#27 Kick Good)
4th	6:03	JPN	44-14	#80 糸川 15yd Pass from #10 西山 (#27 村田 kick Good)
4th	8:58	JPN	51-14	#1 柴田 61yd Run (#27 村田 kick Good)



果敢にギャングタックルする JAPAN ディフェンス陣



3Q#14 嘉本健太郎(明治大)へのパスで TD で得点を 30-0 と広げる



1Q FG に続き 19 ヤードを走り TD する、#3 小田賀優介（法政大）



日本代表 MVP に選ばれた#3 小田賀優介（法政大）

第5回 アメリカンフットボール U-19 世界選手権大会
日本代表選手 45 名 コーチ・スタッフ 18 名

■選手(45 名)

No	背番号	POS	名前	ふりがな	学年	身長	体重	大学
1	1	RB	柴田 健人	しばた けん	1	170	78	日本大学
2	2	DB	村井 翔哉	むらい しょうや	1	168	73	立命館大学
3	3	RB	小田賀 優介	おだが ゆうすけ	1	175	87	法政大学
4	4	LB	北川 太陽	きたがわ たいよう	1	182	86	関西学院大学
5	5	DB	明石 大地	あかし だいち	2	173	75	立命館大学
6	6	QB	野沢 研	のざわ けん	1	177	74	立命館大学
7	7	WR	鏡味 巧磨	かがみ たくま	1	165	75	関西学院大学
8	8	LB	湯上 弘章	ゆかみ ひろあき	1	172	86	龍谷大学
9	9	DL	長内 駿弥	おさない としや	1	178	98	法政大学
10	10	QB	庭山 大空	にわやま おおぞら	2	173	73	立命館宇治高校
11	11	QB	平尾 渉太	ひらお しょうた	1	178	77	関西学院大学
12	13	DB	浅木 照平	あさき しょうへい	1	181	84	立命館大学
13	14	WR	嘉本 健太郎	かもと けんたろう	2	176	70	明治大学
14	15	DB	福山 昂汰	ふくやま こうた	1	177	73	明治大学
15	16	DB	行友 捷人	ゆきとも はやと	2	172	74	法政大学
16	17	DB	多賀 翼	たが つばさ	3	174	74	立命館宇治高校
17	18	WR	大谷 空渡	おおたに くと	1	180	72	日本大学
18	19	WR	田窪 大渡	たくぼ ひろと	1	182	82	早稲田大学
19	20	DB	魚谷 海仁	うおたに かいと	2	170	75	立命館大学
20	21	LB	比留間 豊	ひるま ゆたか	1	170	73	明治大学
21	22	RB	西山 雄大	にしやま ゆうだい	1	176	69	日本大学
22	23	DL	下村 修平	しもむら しゅうへい	1	185	102	立命館大学
23	27	DB	村田 幹太	むらた かんた	1	180	77	明治大学
24	41	LB	藤本 昌也	ふじもと まさや	2	168	87	関西大学
25	44	LB	大沢 海生	おおさわ かいせい	1	171	83	日本大学
26	45	DL	樋口 斎	ひぐち いつき	1	175	90	日本大学
27	47	LB	小西 憂	こにし ゆう	2	177	98	桃山学院大学
28	51	OL	唐松 星悦	からまつ しんえ	2	186	107	東京大学
29	52	DL	伊東 慧太	いとう けいた	2	176	101	日本大学
30	54	DL	宇田 正男	うだ まさお	2	175	103	日本大学
31	55	OL	牧野 隼大	まきの しゅんた	1	180	119	関西学院大学
32	56	OL	三隅 悠司	みすみ ゆうじ	2	186	106	立教大学
33	57	OL	市川 司韻	いちかわ しいん	2	172	109	駒澤大学
34	70	OL	橋口 慶希	はしぐち けいき	1	176	109	早稲田大学
35	75	OL	榊原 弥	さかきばら わたる	1	183	115	法政大学
36	77	OL	松本 鍾太	まつもと しょうた	2	180	110	法政大学
37	78	OL	築瀬 真史	やなせ まさし	1	187	108	慶応義塾大学
38	80	WR	糸川 幹人	いとかわ みきと	3	175	78	箕面自由学園高校
39	83	WR	吉田 亮雅	よしだ りょうが	1	178	74	立教大学
40	85	WR	小林 陸	こばやし りく	3	185	98	大阪産業大学附属高校
41	89	TE	大島 則也	おおしま のりや	1	182	86	明治大学
42	90	DL	光本 周平	みつもと しゅうへい	1	176	103	早稲田大学
43	91	DL	只松 哲郎	ただまつ てつろう	1	183	95	早稲田大学
44	92	TE	水谷 蓮	みずたに れん	3	185	104	高槻高校
45	99	DL	窪田 弦太郎	くぼた げんたろう	1	179	102	日本大学

■スタッフ(18名)

役職	氏名	読み	所属
監督	山崎 隆夫	やまざき たかお	大阪産業大学附属高校
ヘッドコーチ DLコーチ	大橋 誠	おおはし まこと	オービック
オフェンスコーディネーター OLコーチ	大村 和輝	おおむら かずき	関西学院大学
RBコーチ	岸野 公彦	きしの きみひこ	エレコム神戸
WR/TEコーチ	小林 孝至	こばやし たかし	佼成学園高校
QBコーチ	須永 恭通	すなが たかゆき	ノジマ
ディフェンスコーディネーター	池上 祐二	いけがみ ゆうじ	立命館大学
LBコーチ	時本 昌樹	ときもと まさき	法政大学
DBコーチ	中西 隆彦	なかにし たかひこ	金沢大学
ドクター	藤谷 博人	ふじや ひろと	専修大学
TRN	多田 謙吾	ただ けんご	エレコム神戸
CDM	山田 晋三	やまだ しんぞう	JAFA
代表GM	巽 哲夫	たつみ てつお	パナソニック
学生MGR	大保 宏貴	おおぼ ひろき	慶應義塾大学
	鈴木 日向子	すずき ひなこ	駒澤大学
学生TRN	鈴木 克明	すずき かつあき	日本大学
	中野 喬章	なかの たかふみ	日本体育大学
	大内 玲奈	おおうち れな	関西大学

「第5回アメリカンフットボールU-19 世界選手権大会」大会概要

1. 大会名称： 第5回 IFAF アメリカンフットボールU-19 世界選手権大会
5th IFAF U-19 World Championship in American Football
2. 主 催：国際アメリカンフットボール連盟
(IFAF: International Federation of American Football)
3. 日 程：
【大会日程】 2018 年 7 月 14 日（土）～7 月 22 日（日）
【遠征日程】 2018 年 7 月 10 日（火）～7 月 24 日（火）
4. 出場国（予定）
カナダ、アメリカ、メキシコ、日本、オーストラリア、スウェーデン、
5. 派遣選手資格
① 日本国籍を有する者、②16 歳以上 19 歳以下であること（2018 年 12 月 31 日時点）

■試合結果および順位

最終順位 優勝：カナダ、準優勝：メキシコ、3 位：アメリカ、4 位：スウェーデン
5 位：日 本、6 位：オーストラリア

■関連ウェブサイト

- ◇大会公式サイト <http://www.fmfamericano.org.mx/>
- ◇日本代表公式サイト <http://japan.americanfootball.jp/>
- ◇国際アメリカンフットボール連盟公式サイト <http://ifaf.org/>
- ◇日本協会公式サイト <http://americanfootball.jp/>
- ◇日本協会公式フェイスブック <https://www.facebook.com/JAFA1934/>



主管 公益社団法人 日本アメリカンフットボール協会

協力 日本学生アメリカンフットボール協会、日本高等学校アメリカンフットボール協会

遠征日程 【遠征】 7 月 10 日(火) ～ 【帰国】 7 月 24 日(火)

出国便 (アエロメヒコ航空)

7 月 10 日 (火) 関西組 08:00 伊丹空港発 JAL3002 便
14:25 成田空港発 AM57 便
14:10 メキシコシティ空港着

帰国便 (アエロメヒコ航空)

7 月 23 日 (月) 01:55 メキシコシティ空港発 AM58 便
7 月 24 日 (火) 06:20 成田空港着
東京組 09:40 成田空港発 GK230 便
11:10 関西空港発

国内最終練習 6 月 30 日 (土) ～ 7 月 1 日 (日) 於：関西学院大学第 3 フィールド

関連ウェブサイト

- ◇大会公式サイト <http://www.fmfamericano.org.mx/>
- ◇日本代表公式サイト <http://japan.americanfootball.jp/>
- ◇国際アメリカンフットボール連盟公式サイト <http://ifaf.org/>
- ◇日本協会公式サイト <http://americanfootball.jp/>
- ◇日本協会公式フェイスブック <https://www.facebook.com/JAFA1934/>



日本代表 v s メキシコ代表戦のセレモニーで、在メキシコ合衆国日本大使館の高瀬寧特命全権大使が
コイントスを行う



試合後、在メキシコ合衆国日本大使館の高瀬寧特命全権大使を交えての記念撮影



メキシコ商工会議所を訪問し、和久井伸孝日墨協会会長と記念撮影



日本メキシコ学院を訪問し、小学1年生から中学3年生の日本コースに通う児童や生徒達とフラッグフットボール、キャッチボールを行ない交流した









ご声援、誠に有難うございました。



公益社団法人日本アメリカンフットボール協会